

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年 7月 30日

事業所名 若松ひまわり学園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		・パーテーションなどを使用し部屋の構造化を行なっている	・定員に対する部屋の広さは基準内である ・部屋の整理整頓に留意していく
	② 職員の配置数は適切である	○		・新入園児のクラスには1ヶ月程度、パートの職員を配置している	・今後も必要に応じ職員の加配、配置については考慮していく
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・建物が古い場合、物理的に困難なところはあるが、過ごしやすいように椅子やテーブルを配置したり、スケジュールなどの視覚的な支援やパーテーションやテーブルなどを使用することで物理的構造化を行っている	・わかりやすい環境設定は今後も継続するが、バリアフリー化については現状、困難だと思われる
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・定期的にワックスかけ、カーテンのクリーニング、エアコンのフィルター掃除などを業者に依頼 ・毎日の部屋及び園庭の清掃 ・他、チェックシートを用いて定期的に劣化しているところがないかなどチェックしている ・雨天時は活動できる場を廊下まで広げ遊び場の確保をしている	・グループ活動の人数に対して狭い部屋を使用するグループもあるため、プレイルームを優先的に使用できるような配慮は今後も行なっていく
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・各クラスミーティングや職員会議の場で実施	・業務改善については職員間で話し合いできるところから取り組んでいく
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケートを実施し業務改善を行なっている	・昨年度、ご指摘いただいた点について改善した

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○		・アンケート結果についてはホームページで公表し、園内でも掲示	・昨年度の結果についてはHPIにて公表 ・今後も公表していく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・市のモニタリングを毎年受けている	・第三者委員による外部評価については未実施 ・今後の検討事項
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修、園内研修(新採研修・専門研修・人権研修・救命救急研修・不審者対応研修など)を実施 ・業務での研修のほか、自主研修も多くの職員が参加	・業務研修後の職員報告の方法については工夫の必要あり
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・標準化された評価表を使用したり、面接や家庭訪問で保護者の方のニーズを確認し、支援計画を作成	・今後も相談支援専門員のモニタリングや担当職員との懇談の中で保護者の方のニーズを確認していく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ポータープログラム、遠城寺式乳幼児分析的発達検査などを使用 ・必要に応じ総合療育センター地域支援室より評価してもらっている	・今後も継続していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・個別支援計画にガイドラインの項目を入れて作成し、保護者の方に説明をしている	・今後も継続していく

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・保護者の方に説明し同意をいただいた上で支援計画に沿った支援を行なっている	・今後も定期的に見直しを行いながら支援計画に沿って支援を行なっていく
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・児童発達支援管理責任者を含めた各クラス、グループの担当者でミーティングを実施し立案	・今後も継続していく
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・外出、クッキングや季節に合わせた制作など活動の中に入れている	・今後も継続していく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		・作成した児童発達支援計画の課題を実際に指導する際には「個別活動」「集団活動」と適切な方法で実施	・今後も継続していく
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日の朝礼で確認 ・バス添乗職員にはクラスの職員が伝達 ・朝礼に参加していない職員は園務日誌を確認している	・今後も継続していく
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日、必ず振り返りを行い記録やチェックを行なっている	・今後も継続していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎日、必ず振り返りを行い記録やチェックを行い検証・改善につなげている	・今後も継続していく
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・年に3回はモニタリングを実施 ・支援計画について保護者の方のご意見を伺いながら必要に応じて見直しを行なっている	・今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・クラス職員、児童発達支援管理責任者、園長が参加している	・今後も継続していく
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じ子ども総合センター、区役所(子ども家庭相談コーナー・保健師)等の関係機関と連携を取っている	・今後も継続していく
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			/	/
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			/	/

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	②5 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・対象児の園と情報共有を行なった	
	②6 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・引継ぎ書を作成 ・学校からの見学を受け入れている ・保護者の同意の下、口頭で説明し引継ぎ書を提出	・今後も継続していく
	②7 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・総合療育センターの専門スタッフに定期的に来園してもらい連携を取っている	・今後も継続していく
	②8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・グループ活動の一環として1グループが定期的に保育所と交流を行なっている ・保育所の子ども達が来園した時には園庭にて他グループの子どもたちとも関わる時間を設定している	・今後も継続していく
	②9 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・行政からの要請により若松区子育て支援部会に園長が参加している	・要請があれば今後も参加していく
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・定期の懇談以外にも連絡帳や電話等で共有している	・保護者の方の中には、共通理解できていないと思われる方もいらっしゃるため、保護者の方の意向を確認しながら丁寧に説明し共通理解に努めていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルプログラムからホームプログラムを実施 ・保護者勉強会を実施 	・今後も継続していく
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に説明をしている 	・今後も個別での説明を継続していく
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・様式の変更があったため、児童発達支援管理責任者が説明をし同意をいただいた 	・児童発達支援管理責任者と担当職員の説明があるため、混乱されないように丁寧な説明に努める
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な懇談の他に電話や連絡帳にて対応している 	・今後も継続していく
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の活動に関して役員の方と園で相談したり配布文書の確認を行ったりなどできる範囲でサポートをしている ・保護者勉強会や懇談会、父親に特化した行事を行なうなど保護者同士が顔見知りになる機会を作っている 	・今後も継続していく
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や電話などで対応している。できる限り迅速に対応はしているが内容によっては主任、園長が対応する事にもなるため時間をいただく事がある 	・適切な対応と思われない保護者の方もいらっしゃるため、より丁寧に迅速に対応できるように職員間で振り返りを行い対応方法について検討していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお知らせ、献立表、グループ活動の内容を配布 ・行事の様子についてはホームページでお知らせしている ・ホームページを更新した際には連絡帳にてお知らせしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は鍵付きのキャビネットに保管、終業時には施錠している ・名簿を含め持ち帰りは禁止している ・不要な書類はシュレッターにて処分 園内新採研修にて個人情報保護について実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報保護について周知徹底する ・定期的に個人情報の取り扱いについて職員研修でも行なっていく
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な支援を行なうなど個別に応じた対応をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個別に応じて意思疎通や情報伝達について配慮していく
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会主催のバザーに地域の方にも案内を配布している ・地域の市民センター、公民館の要請により文化祭には子ども達の作品展示をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会バザーは今年度より実施しないが、市民センター、公民館の文化祭には今後も作品を展示していく
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは作成し、毎月、訓練も実施している ・訓練の様子等はホームページにてお知らせしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・警察署、消防署の方に来ていただき、不審者想定避難訓練や救命救急についての訓練も職員研修の中で実施 ・お子さんがいる時間内でも不審者対応の避難訓練、竜巻や地震想定避難訓練も実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に関しては今後も継続していく ・警察署の方が来られたときには避難方法や防犯について設備や経路について確認していく

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を 確認している	○		・入園前の面接時に確認している	・今後も継続していく
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく 対応がされている	○		・入園前の面接時に確認している ・除去食に関しては医師の診断に 基づく対応をしている	・今後も継続していく
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して 事業所内で共有している	○		・毎日の朝礼で確認し職員間で情報、 対応策を共有している ・年度末には原因、時期、時間帯、 対応などをまとめ職員間で共有 している	・今後も継続していく
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の 研修機会を確保する等、適切な 対応をしている	○		・毎月、各クラスでチェックしている ・虐待防止の研修会に参加し、職 員全体で周知している	・今後も継続していく
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体 拘束を行うかについて、組織 的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得 た上で、児童発達支援計画に 記載している	○		・バス内の身体拘束(チャイルド シート、胸ベルトなど)はバス添乗 の職員が毎日、チェックを行い状 況を確認している	・身体拘束については、書面化と説明を行 い、保護者の同意を得ている ・日々の記録を実施している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。